

# 在日朝鮮人資料叢書 在日朝鮮人運動史研究会監修

## 在日朝鮮人史 資料集

### 在日朝鮮人商工便覧

### 初期在日朝鮮人人口調査資料集

### 在日朝鮮人教育関係資料

### 朝鮮人強制動員関係資料

### 在日朝鮮人留学生資料

### 在日朝鮮人強制動員関係資料

### 在日朝鮮人教育関係資料

### 在日朝鮮人留学生資料

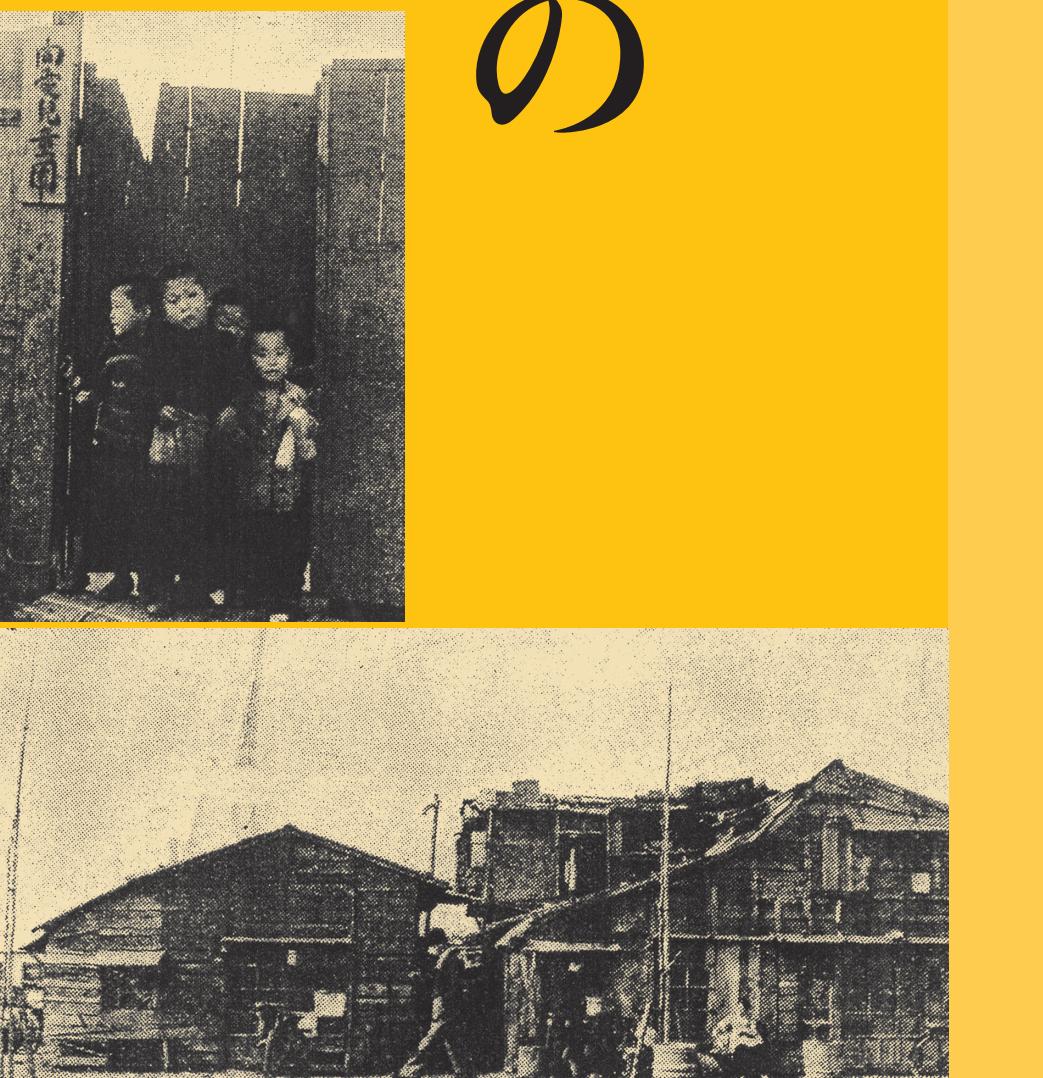
〔編集者〕

外村大 (東京大学准教授)

韓載香 (北海道大学准教授)

羅京洙 (学習院女子大学准教授)

緑蔭書房



緑蔭書房

〒173-0004  
東京都板橋区板橋1-13-1  
☎ 03 (3579) 5444  
〔消費税が別途算加されます〕

特約店

見 る 朝 鮮	新 聞 社 説 に	資 料	朝 鮮 認 識	近 代 日 本 の	雜 誌 に み る	朝 鮮	資 料
関連図書							

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

朝 鮮	近 代	雜 誌	資 料
韓国併合期前後			

||
||
||

在日朝鮮人の動向を伝えた新聞や雑誌の記事は、警察当局の治安取締り関連史料や社会調査報告の類と並んで、植民地期の在日朝鮮人の歴史を知る上で欠かせない史料である。そうした記事は、日本で刊行されていた日本語メディアのみならず、朝鮮を本拠としていた日本語、朝鮮語の新聞や雑誌にも掲載されていた。本資料集は、そのような在日朝鮮人の動向を伝える一般紙の特集記事・連載記事・総合雑誌の記事から重要なものを選定し、収録したものであり、朝鮮語原文の記事については日本語への翻訳を行っている。

これらの記事が書かれた背景や意図、盛り込まれている内容は様々である。「(本)」は朝鮮半島で活動している記者がまとめたものでは、在日朝鮮人迫害の事件の真相調査や「内地」視察のなかで得た見聞を記したもの、取材をもとに生活実態について詳しく記したもの、「成功者」たちの紹介記事などがある。他方、在日朝鮮人の手による記事や彼らの声を盛り込んだものとしては、自分たちが直面している生活問題について語った座談会、動員されて日本で働く労働者についての座談会、その地域で活躍している朝鮮人の様子を伝えた記事がある。また、戦時下に入ると、協和事業を評価し国策協力を訴えるような内容の文章を含むもの、それ以前の記事では、

民族主義的な要素もしばしば確認できる。

新聞・雑誌というメディアの性格上、また掲載誌の性格が御用新聞もあれば民族紙もあるということ、時期的に民族運動が一定程度展開できた時期から戦時下までを含むので、記事の内容や性格が以上のように多種多様であることは当然である。しかし、これらの記事には、ほかの史料から把握できない貴重な事実が含まれている。例えば、そこでは、行政当局が作成した史料のなかではあまり記録されない、在日朝鮮人の日常生活の様子や文化や経済の動きなどについて知ることができる。また、在日朝鮮人自身の意識や考え方がある。あるいは本国の朝鮮人たちが在日朝鮮人をどのように見ていたのかについても、これらの記事の記述からわかることがある。

以上のようなことから、本資料集は在日朝鮮人の歴史に关心を持つ人びとに有益な情報を提供するはずである。多くの人びとが手に取り、在日朝鮮人の歴史への理解を深め、歴史研究の一助となることを期待したい。

## ▼収録資料

※印は日本語訳にして本書に収録した。

外村 大 (東京大学准教授)

宋之文

（在内地朝鮮人生活）

在大阪朝鮮人の生活相

宋之文

今から二〇年余り前には、朝鮮人で、日本内地に渡つて職を探し、そこで暮らすと考える人は珍しかっただろう。言葉も通じない、風俗も違う、技術もない、いくら考へても自分の故郷で農業をやりながら、一生を過ごす以外には、別に妙策などあらうはずがないからである。しかし、時間の魔術師は約二〇年間の歳月の間、大阪府下だけでも三〇万に近い朝鮮人をそこに追いやり、京都・兵庫・東京・山口・広島などの各府県と、北のほうでは樺太などにまで散在している朝鮮人を数えると、的確な統計が手の中にないので断言できないが、六、七〇万人になるだろう。そして、密航をはかったものの、失敗した者がどれほど多いか、また密航したい気持ちでたまらない人が、何人いるかわからないくらいであろう。労働力以外には何も持っていない人たちにとっては、その労働力が売れるところだけが彼らの理想郷であるからだ。玄海灘の波濤と東方の空の悠々たる白雲を眺め、憧憬のため息をつくのも無理ではないだろう。

内地にいる朝鮮人の生活は、工都大阪を中心にして暮らしている朝鮮人の生活がもつとも代表的である。また特色があり、さらについも物議をかもし、騒がしいのも、結局は大阪にいる朝鮮人についての問題である。だから、ここでは大阪にいる朝鮮人の生活相について記している。

大阪府に居住している朝鮮人數の過去二〇余年間の集計を記録して参考にしてみよう。

日	月	年	内 地	朝鮮人生活
四	四	一九四〇	一九四〇年四月	日本語訳にして本書に収録
五	五	一九四〇	一九四〇年五月	日本語訳にして本書に収録
六	六	一九四〇	一九四〇年六月	日本語訳にして本書に収録
七	七	一九四〇	一九四〇年七月	日本語訳にして本書に収録
八	八	一九四〇	一九四〇年八月	日本語訳にして本書に収録
九	九	一九四〇	一九四〇年九月	日本語訳にして本書に収録
十	十	一九四〇	一九四〇年十月	日本語訳にして本書に収録
十一	十一	一九四〇	一九四〇年十一月	日本語訳にして本書に収録
十二	十二	一九四〇	一九四〇年十二月	日本語訳にして本書に収録
一	一	一九四一	一九四一年一月	日本語訳にして本書に収録
二	二	一九四一	一九四一年二月	日本語訳にして本書に収録
三	三	一九四一	一九四一年三月	日本語訳にして本書に収録
四	四	一九四一	一九四一年四月	日本語訳にして本書に収録
五	五	一九四一	一九四一年五月	日本語訳にして本書に収録
六	六	一九四一	一九四一年六月	日本語訳にして本書に収録
七	七	一九四一	一九四一年七月	日本語訳にして本書に収録
八	八	一九四一	一九四一年八月	日本語訳にして本書に収録
九	九	一九四一	一九四一年九月	日本語訳にして本書に収録
十	十	一九四一	一九四一年十月	日本語訳にして本書に収録
十一	十一	一九四一	一九四一年十一月	日本語訳にして本書に収録
十二	十二	一九四一	一九四一年十二月	日本語訳にして本書に収録
一	一	一九四二	一九四二年一月	日本語訳にして本書に収録
二	二	一九四二	一九四二年二月	日本語訳にして本書に収録
三	三	一九四二	一九四二年三月	日本語訳にして本書に収録
四	四	一九四二	一九四二年四月	日本語訳にして本書に収録
五	五	一九四二	一九四二年五月	日本語訳にして本書に収録
六	六	一九四二	一九四二年六月	日本語訳にして本書に収録
七	七	一九四二	一九四二年七月	日本語訳にして本書に収録
八	八	一九四二	一九四二年八月	日本語訳にして本書に収録
九	九	一九四二	一九四二年九月	日本語訳にして本書に収録
一〇	一〇	一九四二	一九四二年十月	日本語訳にして本書に収録
一一	一一	一九四二	一九四二年十一月	日本語訳にして本書に収録
一二	一二	一九四二	一九四二年十二月	日本語訳にして本書に収録
一三	一三	一九四三	一九四三年一月	日本語訳にして本書に収録
一四	一四	一九四三	一九四三年二月	日本語訳にして本書に収録
一五	一五	一九四三	一九四三年三月	日本語訳にして本書に収録
一六	一六	一九四三	一九四三年四月	日本語訳にして本書に収録
一七	一七	一九四三	一九四三年五月	日本語訳にして本書に収録
一八	一八	一九四三	一九四三年六月	日本語訳にして本書に収録
一九	一九	一九四三	一九四三年七月	日本語訳にして本書に収録
二〇	二〇	一九四三	一九四三年八月	日本語訳にして本書に収録
二一	二一	一九四三	一九四三年九月	日本語訳にして本書に収録
二二	二二	一九四三	一九四三年十月	日本語訳にして本書に収録
二三	二三	一九四三	一九四三年十一月	日本語訳にして本書に収録
二四	二四	一九四三	一九四三年十二月	日本語訳にして本書に収録
二五	二五	一九四四	一九四四年一月	日本語訳にして本書に収録
二六	二六	一九四四	一九四四年二月	日本語訳にして本書に収録
二七	二七	一九四四	一九四四年三月	日本語訳にして本書に収録
二八	二八	一九四四	一九四四年四月	日本語訳にして本書に収録
二九	二九	一九四四	一九四四年五月	日本語訳にして本書に収録
三〇	三〇	一九四四	一九四四年六月	日本語訳にして本書に収録
三一	三一	一九四四	一九四四年七月	日本語訳にして本書に収録
三二	三二	一九四四	一九四四年八月	日本語訳にして本書に収録
三三	三三	一九四四	一九四四年九月	日本語訳にして本書に収録
三四	三四	一九四四	一九四四年十月	日本語訳にして本書に収録
三四五	三四五	一九四四	一九四四年十一月	日本語訳にして本書に収録
三四六	三四六	一九四四	一九四四年十二月	日本語訳にして本書に収録
三四七	三四七	一九四五	一九四五一年一月	日本語訳にして本書に収録
三四八	三四八	一九四五	一九四五一年二月	日本語訳にして本書に収録
三四九	三四九	一九四五	一九四五一年三月	日本語訳にして本書に収録
三四一〇	三四一〇	一九四五	一九四五一年四月	日本語訳にして本書に収録
三四一一	三四一一	一九四五	一九四五一年五月	日本語訳にして本書に収録
三四一二	三四一二	一九四五	一九四五一年六月	日本語訳にして本書に収録
三四一三	三四一三	一九四五	一九四五一年七月	日本語訳にして本書に収録
三四一四	三四一四	一九四五	一九四五一年八月	日本語訳にして本書に収録
三四一五	三四一五	一九四五	一九四五一年九月	日本語訳にして本書に収録
三四一六	三四一六	一九四五	一九四五一年十月	日本語訳にして本書に収録
三四一七	三四一七	一九四五	一九四五一年十一月	日本語訳にして本書に収録
三四一八	三四一八	一九四五	一九四五一年十二月	日本語訳にして本書に収録
三四一九	三四一九	一九四五	一九四五二年一月	日本語訳にして本書に収録
三四二〇	三四二〇	一九四五	一九四五二年二月	日本語訳にして本書に収録
三四二一	三四二一	一九四五	一九四五二年三月	日本語訳にして本書に収録
三四二二	三四二二	一九四五	一九四五二年四月	日本語訳にして本書に収録
三四二三	三四二三	一九四五	一九四五二年五月	日本語訳にして本書に収録
三四二四	三四二四	一九四五	一九四五二年六月	日本語訳にして本書に収録
三四二五	三四二五	一九四五	一九四五二年七月	日本語訳にして本書に収録
三四二六	三四二六	一九四五	一九四五二年八月	日本語訳にして本書に収録
三四二七	三四二七	一九四五	一九四五二年九月	日本語訳にして本書に収録
三四二八	三四二八	一九四五	一九四五二年十月	日本語訳にして本書に収録
三四二九	三四二九	一九四五	一九四五二年十一月	日本語訳にして本書に収録
三四三〇	三四三〇	一九四五	一九四五二年十二月	日本語訳にして本書に収録
三四三一	三四三一	一九四五	一九四五三年一月	日本語訳にして本書に収録
三四三二	三四三二	一九四五	一九四五三年二月	日本語訳にして本書に収録
三四三三	三四三三	一九四五	一九四五三年三月	日本語訳にして本書に収録
三四三四	三四三四	一九四五	一九四五三年四月	日本語訳にして本書に収録
三四三五	三四三五	一九四五	一九四五三年五月	日本語訳にして本書に収録
三四三六	三四三六	一九四五	一九四五三年六月	日本語訳にして本書に収録
三四三七	三四三七	一九四五	一九四五三年七月	日本語訳にして本書に収録
三四三八	三四三八	一九四五	一九四五三年八月	日本語訳にして本書に収録
三四三九	三四三九	一九四五	一九四五三年九月	日本語訳にして本書に収録
三四三一〇	三四三一〇	一九四五	一九四五三年十月	日本語訳にして本書に収録
三四三一一	三四三一一	一九四五	一九四五三年十一月	日本語訳にして本書に収録
三四三一二	三四三一二	一九四五	一九四五三年十二月	日本語訳にして本書に収録
三四三一三	三四三一三	一九四五	一九四五四年一月	日本語訳にして本書に収録
三四三一四	三四三一四	一九四五	一九四五四年二月	日本語訳にして本書に収録
三四三一五	三四三一五	一九四五	一九四五四年三月	日本語訳にして本書に収録
三四三一六	三四三一六	一九四五	一九四五四年四月	日本語訳にして本書に収録
三四三一七	三四三一七	一九四五	一九四五四年五月	日本語訳にして本書に収録
三四三一八	三四三一八	一九四五	一九四五四年六月	日本語訳にして本書に収録
三四三一九	三四三一九	一九四五	一九四五四年七月	日本語訳にして本書に収録
三四三二〇	三四三二〇	一九四五	一九四五四年八月	日本語訳にして本書に収録
三四三二一	三四三二一	一九四五	一九四五四年九月	日本語訳にして本書に収録
三四三二二	三四三二二	一九四五	一九四五四年十月	日本語訳にして本書に収録
三四三二三	三四三二三	一九四五	一九四五四年十一月	日本語訳にして本書に収録
三四三二四	三四三二四	一九四五	一九四五四年十二月	日本語訳にして本書に収録
三四三二五	三四三二五	一九四五	一九四五五年一月	日本語訳にして本書に収録
三四三二六	三四三二六	一九四五	一九四五五年二月	日本語訳にして本書に収録
三四三二七	三四三二七	一九四五	一九四五五年三月	日本語訳にして本書に収録